

令和6年第2回運営推進会議 議事録

令和7年3月24日

事業所名	デイサービスセンター「笑くぼ」										
開催日時	令和7年3月24日(月)					14 時 00 分 ～ 16 時 30 分					
開催場所	デイサービスセンター「笑くぼ」2階会議室										
参加者	利用者			1	名	知見を有する者			1	名	
	利用者家族			1	名	地域包括支援センター			1	名	
	地域住民の代表			1	名	事業所職員			2	名	
議題	1	デイ外の畑の活用									
	2	子ども110番について									
	3	感染対策について									
	4										
会議録											

1. 運営状況

○利用者状況

利用定員 17名 登録人数 23人(男性 4名 女性 19名) 1日平均11.8名 令和6年9月より5名増

事業対象者:1名 要支援2:1名 要介護1:1名 要介護2:13名 要介護3:3名 要介護4:3名 要介護5:1名

○月行事

- ・10月 運動会 ボランティアによる歌の会 サプライズ昼食
- 11月 効用ドライブ(小瀬公園・英和大学周辺) ほうとう作り
- ・12月 今月よりコーヒータイムや温泉気分の入浴などを取り入れました。
- ・1月 仕事始めの3日にはおせち料理、7日は七草がゆ、おでんなど1月らしい昼食づくりとおやつに
お汁粉・甘酒・お好み焼きを提供し喜ばれました。
- ・2月 3日は節分で巻きずし・そばを提供しレクでは豆まきを皆で楽しみました。
- ・3月 ひな祭りであられ寿司を提供しました。また、お雛様の塗り絵をしました。
2月に予定していた梅の花ドライブは3月の下旬に行いました。
を楽しそうにされていました。

避難訓練は職員のみで手順の確認をしました。(火災時) 別紙参照

《インフルエンザ感染について》

12月の下旬に利用者・職員の発熱が確認され受診の結果インフルエンザ感染と診断されました。
その後次々と感染者が増え、何より職員が一気に休みに入ってしまった為に事業所閉鎖と言う事態になりました。
再開への近道はしっかり療養し、早く解熱する事だという事で既定のお休み期間を取り全員復帰となりました。
その後は利用者も復帰されいつもの日常が戻り、2月には体調不良者も延べ5人と言う少数でした。

《その他の感染症》

今年になってから全国的にノロウイルス感染症が蔓延しているという事で会社でその研修を開催して下さいました。
それを職員会議で出席できなかった職員に実践をしながら再度研修しました。また、手洗いの徹底も励行しました。

《運営推進委員会の各意見》《返答》

○民生委員

- 現在の畑では利用者には危険ではないか(段差が有るために)
- 見守り隊として登校班の登下校を見守っているが緊急時の情報が学校側から何もないのでそれについては？
前回にも同様な問題提起が有りました。それが、未だ課題として残っており再度取り上げて意見を頂きました。
対応としてグットケアー社長から学校側に掛け合い、「校長先生に報告し検討する」という回答を頂きました。
(子ども110番のステッカーを掲げている以上子どもの安全にも注意を払いたいと思います。

- 「笑くぼ」は利用者に対して近い距離感を持っている様に思われました。

○南地域包括支援センター
電話詐欺等を予防するために利用者の話をよく聞いて欲しい。
(そうすることで詐欺被害に会わずに済むかもしれない)
○サテライト尚古園
利用者の状況を良く把握して細かいことも良く報告して下さるので有難いです。
畑に関して利用者と一緒に野菜作りが出来る様にプランター栽培なども検討したらどうでしょうか？
○利用者様
毎回良くしてもらい、困ったことを相談すれば直ぐに対応して頂き本当に有難いです。
最初から「笑くぼ」さんにお世話になっています。今後も宜しくお願いします。
○ご利用者家族
インフルエンザで事業所を閉鎖したとき入浴が出来ずに困っていた事を伝えると、直ぐに他事業所へ対応を応援
依頼して下さい有難かったです。結果は「笑くぼ」さんが再開したので他所に行かずに済みました。
会議報告は以上です。今期はインフルエンザの蔓延で事業所閉鎖と言うアクシデントに見舞われましたが、
これをポジティブに捉え「良い経験をした」と職員全員が「二度とこのような事を起こさない様にお互いに注意しあう」
と気持ちを引き締めました。今後も「利用者を主人公にした介護」を念頭に楽しく安全にご利用できる新しい
「笑くぼ」の構築に一丸となって取り組んで行きたいと思います。